

憲法判例からみる 日本国憲法の現状

話題提供者 森口 佳樹

(副学長・経済学部教授)

日本国憲法が制定され、ほぼ70年が経過していますが、この間改正論議はさまざまに主張されたものの、現実の改正にまでは至りませんでした。しかしながら、憲法規定の解釈はさまざまに変化し、憲法問題を具体的に解決するのに寄与してきました。

今回のサロンでは、憲法判例の変化を手がかりとしながら、現実の社会にどのように憲法が活かされているのかという問題について、いろいろと考えてみたいと考えています。「生きた」憲法の姿をお話できればと考えています。

参加無料
申込不要

日時 平成28年 1月20日 水 19:00～20:30

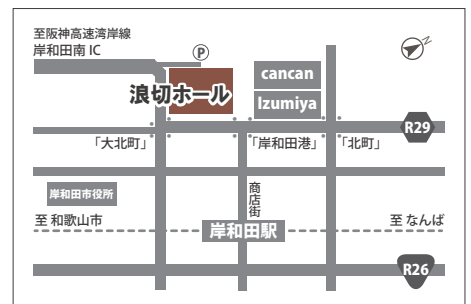
場所 岸和田市立浪切ホール 1階 多目的ホール

問合せ 和歌山大学岸和田サテライト

岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

Tel & Fax : 072-433-0875

【E-mail】 kishiwadastaff@center.wakayama-u.ac.jp



南海本線「岸和田」駅下車 徒歩約10分

駐車場有 (平日終日無料)



わだい浪切サロンとは 毎月第3水曜日(2月と8月を除く)の夜7時、岸和田市立浪切ホールで開催する mini 和歌山大学です。和歌山大学の教員等が、地域のみなさまに身近な研究テーマや旬のトピックスをわかりやすくお話しします。申込は不要、参加費は無料、どなたでも参加いただけます。

今後の開催予定

回	日時	テーマ（予定）	話題提供者（敬称略）
80	3月16日（水）	ワイドショーより面白い幕末明治の浮世絵	菅原 真弓 （「教養の森」センター准教授）

※8月と2月はお休みです。

※平成28年4月からのわだい浪切サロンは、決まり次第ホームページにて公開いたします。お楽しみに。

第77回「オープンデータと地域振興」のアンケートより

- ◇ オープンデータと聞いて何か全くわからなかったのですが、今日の講義を聞いて何かが分かってよかったです。オープンデータの使い方によって、地域活性化は可能なのかなと思うことが出来ました。また新たな切り口を知れて良かったです。（20代・女）
- ◇ マッピングパーティーは、防災の観点からも利用できるのではないかと思います。（20代・女）
- ◇ 誰かに何かをしてもらうためにオープンデータを公開活用することで、地域のデータやバラバラの情報をまとめたり、くっつけたりして問題を見えるようにし、人々が動くきっかけになることがわかりました。（40代・男）
- ◇ データは公開することにより誰かが、価値をつけてくれる利用方法が、あるかもしれないことがよくわかった。行政のみでなく、住民が主体となることも地域創生には不可欠。（60代・男）

🔊 わだい浪切サロン参加者の声

- ・ **大学の授業を体験**できたみたいでとても良かった。（10代・女性）
- ・ **すごくわかりやすく、今の自分が知りたいテーマ**だった。（30代・女性）
- ・ **質疑応答の時間**があるのが良い。（60代・男性）
- ・ 終了後の**自由参加の懇親会**が楽しい。（60代・男性）

和歌山大学岸和田サテライト 岸和田市港緑町 1-1 浪切ホール 2F

【Tel&Fax】072-433-0875

【URL】<http://www.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/>



🔍 岸和田サテライト

検索 🔍